

## 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

学校名	相模原中等教育学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制普通科 後期課程（単位制）
-----	-----------	------------------	---------------------

### 1 学校のミッション

6年間の一貫した教育課程や学習環境の中で、多彩で豊かな教育内容の展開を通じて、個性や創造性の伸長を図るよう、カリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組む。

これからの国際社会に対応する幅広い教養と社会性・独創性を備え、よりよい社会の構築に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成するとともに、学年の枠を超えた活動などを通じて、思いやりの心を持ち、自ら進んで未来を切り拓く意欲や行動力あふれる、豊かな人間性とリーダーシップを備えた次世代を担うリーダーを育成する。

教育目標である「人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する」の達成に向けた取組を推進する。

教科・科目の学習を通して身に付けた知識・技能を基礎としながら、自ら課題を見出し、課題を解決するため、他者と協働する学習に取り組むとともに、自然を探究する学習を通して、科学的・論理的思考力の育成に取り組む。

### 2 学校教育目標

人格の完成をめざし、高い知性と豊かな人間性をそなえ、心身ともに健全な、次世代を担う人材を育成する。

### 3 計画策定時点での課題

○中等教育学校における教育課程の基準の特例等を活かして、新学習指導要領に基づいた神奈川らしい中高一貫教育校の特色を活かした魅力ある教育課程を完成させる必要がある。

○6年間一貫教育の特色を活かした探究活動を検証し「かながわ次世代教養」及び「サイエンスチャンネル」のあり方を確立するとともに、探究活動を中心としたカリキュラム・マネジメントが課題である。

○生徒の高い進路希望の実現に向け、10年間の結果を踏まえて同等それ以上の結果を求められている。特に本校の特色ある教育課程に基づいて、国公立大学進学希望を中心に高い進路意識の向上を図るとともに生徒の主体的な学びの充実と「深い学び」の実現が求められている。また、それに応えられる授業力を高めるための組織的な授業改善の取組が課題である。

○不登校の生徒や学校生活に不安をかかえている生徒への対応として、相談しやすい環境を整えるとともに、スクールカウンセラーや外部機関との連携を行い、組織的な教育相談体制を充実させる必要がある。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中高一貫教育の特色ある教育課程を策定し、知的好奇心を引き出し、高い学力と志を身に付けさせる。</li> <li>・探究学習を中心にカリキュラム・マネジメントを展開し、「自ら考え・調べる」姿勢を育成する。</li> <li>・主体的・対話的な深い学びの「深い学び」を重点研究し、言語活動の充実を図りながら科学的根拠に基づく理論的思考、表現力を育成する</li> <li>・国際社会へ貢献できるよう英語運用力向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程改訂</li> <li>・前期課程の「かながわ次世代教養」を後期課程での探究学習につなげ、体系的な探究学習を中心にカリキュラム・マネジメント確立する。</li> <li>・「知的好奇心を引き出し、自ら考え・調べる」を深い学びの手立てとして組織的授業改善し、独自手立てを確立する</li> <li>・研修旅行、イングリッシュキャンプ等年次ごとに英語運用機会を整備、また、留学生受け入れ等日常的教育活動における英語運用機会を増進させる。</li> <li>・GTECのスコア960 (B1) 以上取得者の推移検証と増加を図る。</li> </ul>
2	(幼児・児童) 生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主自律を推奨し、目標達成を諦めない精神力と規範意識、思いやりをもって下級生を指導するリーダー意識を醸成する。</li> <li>・6年間を安心して過ごせるよう生徒・保護者が利用しやすい教育相談体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活、生徒会活動、行事、部活動において、上級生はリトルチューターとして行動指針を提示、下級生学習指導を含めた主体的運営を指導する。</li> <li>・外部機関連携も含め教育相談センターを組織的に展開し、相談窓口として生徒・保護者が活用できる体制を確立する</li> </ul>
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5教科受験での国公立大学を推奨し、60名以上の現役合格者を目指す。諦めさせない進路指導により、国立大・難関大第一志望現役合格率75%を目指した段階的・体系的な支援・指導を行う。</li> <li>・高い志を維持させるため、実践・経験値を高めさせ、「基礎期・充実期・発展期」を踏まえた自己変容のプロセスを認知させるキャリアプランニングを指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートと連動し、「基礎期・充実期・発展期」各期末に活動履歴を振り返り、将来像を表現させる。</li> <li>・国公立合格者数推移、共通テスト総合得点率分析と目標値設定</li> <li>・英語弁論大会や科学オリンピックなど各種検定・コンテストを推奨し参加率を増やす。</li> </ul>
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流から社会貢献意識を醸成する。</li> <li>・神奈川県を代表する中高一貫教育校としての魅力を発信し、6年の学びの意欲を引き出す広報、開かれた学校づくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小・中学校、大学、企業、NPO法人、他中等教育学校等外部機関と協働し、教育活動を充実させる。</li> <li>・志願者が6年3期の学校生活を思い描き、卒業までの目標をもって入学できることを学校説明会の趣旨とし、志願者数の増加を図る。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務を組織的に可視化させ、効率向上から働き方改革を推進するとともに若手OJTを推進する。</li> <li>・地域から信頼されるため職員一人ひとりが県職員の自覚を持ち、事故防止意識を持って取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間、月間業務計画を立て、共有化による人材育成とサーバー上の会議等を推奨し、業務の効率化を図る。</li> <li>・校内行動指針と全職員事故防止目標を設定する。</li> <li>・中等教育学校理解のための研修を継続的に実施する。</li> </ul>